

男女がともに 輝くために

美浦村男女共同参画
～共に輝くみほの会～

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)209

この一年、
そして新たな一年

松山 和子

当会では、令和6年度より活動内容を2年ごとに区切り、計画を立案し、会員相互で研修し学びを広げ、活動してまいりました。また、他の団体やサークル等と交流し、繋がりを大切に行っています。

活動を振り返る

「男女共同参画講演会」

令和6年8月31日に、男女共同参画講演会「グラデーシヨンの中で輝くあなたへ」多様な性のおはなし・LGBTQ」を実施しました。

講師の永瀬大紀さんは、自身の性自認（心の性）は、男性でも女性でもなく「自分」であると語られました。

わたしたちの性には、無数のグラデーシヨンがある。

しかし、「普通」や「当たり前」という枠組みは相変わらず存在し、誰かを傷つけ苦しめているかもしれません。

「わたしらしさ」あなたらしさ」もありのままの存在を認め合える社会に。

この講演会を通し、みんなが自分らしく生きられる社会のためのヒントとなるような心がけたいと感じました。

※この講演会の内容や様子は、広報みほ令和6年11月号の『男女がともに輝くために』（当コーナー）にて紹介しています。

これからの活動

平和へのメッセージ

令和8年7月18日に、中央公民館にて、原作・高橋光子氏の小説を基につくられた映画「ぼくは風船爆弾」（監督・松村克弥氏）を上映することになりました。

この映画は、敗戦間際の『知られざる戦争秘史』を、実写とアニメーションとドキュメンタリーで描く、平和へのメッセージとなっています。当日は、映画監督と出演俳優の舞台挨拶とトークも予定しています。また、映画撮影にあたり、行方市、美浦村での撮影もあったそうです。

この映画上映にて、平和の尊さ、平和を繋ぎつづけること、命の大切さを感じていただけると幸いです。

※上映時間・入場料等詳細は、後日お知らせいたします。



私たちと一緒に
活動しませんか？

美浦村男女共同参画（共に輝くみほの会）では、活動を共にできる会員を男女問わず募集しています。どうぞお気軽にお声かけください。

■ 問合せ 企画財政課



みほ文芸

正調俳諧 日和吟社 字結び「年・越」

冬の荒波いくつも越えて霞浦で春待つ渡り鳥

年を経てなお仲良し夫婦共に越えるか大台を

旧友と会うのは何年振りか心浮き浮き待ち通し

越えた山坂試練の種も八十路迎えて実る幸

年も重なり心の余裕すべて叶えて祝い酒

寄せる年波素直に受けて持ちつ持たれて暮す幸

年の瀬に来てしみじみ思う浮くも沈むも金次第

何があっても越えてた年数も異変続けば神だのみ

無理を承知で年末だけは夢を買います宝くじ

楽し食卓一族集い語る思い出年送る

母の歳越し丈夫な身体もらい八十路に唯感謝

鳥に施し豊作柿は七つ残して年を越す

年を越せるか病の母は辛さ涙で薄めてた

孫もないのに「老婆ちゃん可愛い」うれし寂しの年の嵩

聡太・翔平国民沸かしビックニュースで巳年締め

貯めた不満は年越し蕎麦の汁に煮込んでそっと出し

身体こわしてはじめて知った父を越えるぞあと五年

十二月の俳句（題 当季雑詠）

味もよし姿もよしや渡舟

縄文の展示は土器と都子の実と

サンタさん私もほしいプレゼント

ぐつぐつとおでんの鍋のひとりごと

銅像の笛吹きわらべ落葉舞ふ

落葉や変わる景色の故郷の道

有れも比もと思うばかりの年の暮

雲海に浮かぶ冬富士夕茜

検診の何事もなく冬日和

枯蓮の水面に夕日照り返す

警官の戸別訪問年迫る



五十音順

石戸 律華

井戸 賀蔵道

伊藤 葉子

上野 八千代

小園 江久美

門脇 悠美

篠原 美千代

関根 秀子

高橋 一步

田島 草実

塚本 夏雲

沼崎 朋香

長谷川 悦子

増尾 青蓮

山岡 亜子

山崎 笑子

山崎 泰弘

五十音順

市川 紀行

海道 民子

新宮 和子

高柳 幸子

田島 早苗

中島 輝子

長田 敏笑

増尾 尚子

松葉 統子

村崎 典子

山口 美代子